

◇ 昭和59年1月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)

## 迎春

寒空をついての出初式

「放水用意」「放水開始」のかけ声と一斉放水

一致団結した消防団の出初式には活力があります

— 一月八日出初式にて —



新春を迎えて



議長

田村市郎



副議長

高水惣八

昭和五十九年の新春を寿ぎ、合わせて市民の皆さま方の御健勝を心からお喜び申し上げます。

さて、今年の干支は甲子(きのえね)十干十二支六十年サイクルの最初の年にあたり、物事の始まりを意味する年であるとも言われております。

師走の総選挙で、来年度予算政府案の確定を見ぬままに新年を迎えた中曽根内閣も、本年を景気回復の年に、また、行政改革、財政再建をするための大事な年にしたいとの姿勢を明らかにしております。

新しい時代が要求している行政改革については、地方自治体においても地方の実情に即した行政の実現を目指さなければなりません。市議会といたしましても将来に禍根を残さぬよう最善の努力をいたし、市民の皆さま方の御期待に沿うよう微力を尽くす所存であります。

年頭にあたり、市政並びに市議会に対します一層の御理解、御支援をお願い申し上げます。御挨拶といたします。

- |   |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 林 | 在 | 村  | 石 | 赤 | 齊 | 井 | 石 | 上 | 木 | 原 | 遠 | 小 | 仲 | 加 | 東 | 堀 | 宮 | 指 | 村 | 森 | 関 |
| 田 | 原 | 野  | 川 | 星 | 藤 | 上 | 川 | 野 | 村 | 藤 | 藤 | 野 | 村 | 村 | 田 | 田 | 川 | 沢 | 尾 | 田 | 田 |
| 和 | 一 | 泰  | 行 | 寅 | 重 | 敏 | 洋 | 清 | 謹 | 之 | 正 | 良 | 保 | 栄 | 治 | 米 |   |   |   |   |   |
| 武 | 博 | 一郎 | 人 | 異 | 吉 | 保 | 勝 | 藏 | 子 | 久 | 信 | 助 | 治 | 實 | 一 | 雄 | 次 | 男 | 吉 |   |   |

議員

第4回 12/8~12/20 定例会

審議日程

- |     |               |
|-----|---------------|
| 8日  | 本会議           |
| 9日  | 一般会計決算審査特別委員会 |
| 12日 | 総務委員会         |
| 13日 | 厚生委員会         |
| 16日 | 建設委員会         |
| 20日 | 議会運営委員会       |
|     | 本会議           |

慌ただしい年の瀬の十二月八日、本年最後の第四回定例会が招集されました。

この定例会では、五十七年度一般会計などの決算認定や、五十八年度各会計補正予算のほか、条例の一部改正など二十議案と陳情・請願八件を審査しました。

第一日目 会期を二十日までの十三日間と決定したのち、五人の議員が市の機構改革や基地問題あるいは、都市計画

などについて一般質問を行い、市長の考えを聞きました。

続いて市長より提案された都市公園条例の一部改正や、今回新たに制定する駅前駐車施設の設置及び使用に関する条例を初めとして、市道路線の認定・廃止、陳情七件などを担当委員会へ付託しました。

五十七年度の一般会計決算については、特別委員会をつくり審査することになりました。

第二日目 閉会中に開かれた各委員会で審査した結果が委員長から報告され、都市公園条例の一部を改正する条例や駅前駐車施設の設置及び使用に関する条例のほか、五十八年度の一般会計や特別会計の補正予算も原案どおり可決され、五十七年度の各会計決算についても、すべて原案のとおり認定されました。

また、市民の方々から提出されていた陳情七件を採択し、三件については意見書を内閣総理大臣及び関係各大臣へ提出することになりました。



一千九百六十円の平方メートル当たりの単価と、借地返還収入について聞きたい。

答 市有地売却収入の単価は一平方メートル当たり二万九千円で、面積は百五十五・二四平方メートルである。

借地権の返還収入は、三小の近くに市設住宅用地として百六十四・七九平方メートル借りていたものを地主さんに返還したもので、一平方メートル当たり十七万円という鑑定結果が出た。

三割の借地権を認めていたたき八百五十五万二千円の返還収入となった。

### 職員給与との

### 適正化に努力

### 《歳出》

問 歳出に占める人件費の構成比は二一％になっているが、二十六市中どのくらいか。

また、給料表も職務階階制に改めていくと聞いているが、その考え方と五十七年度、五十八年度のラスパイルズ指数を聞きたい。

答 二十六市中の人件費の割合は二四％で、順位としては低い方から七番目である。

給料表については、逐次職務階階制を導入する方針である。ラスパイルズ指数については

五十七年度が百十六・七で、五十八年度が百十六となっており若干ではあるが下がっている。

問 庁舎清掃委託料八百二十五万六千円とあるが、どのような形で支払いをしているのか。各種相談員や、行政事務連絡員等についてもお聞きしたい。

答 庁舎清掃委託料は月々の支払いで、月六十八万八千円の十二カ月分という形で支払っている。各種相談員も月払いで、行政事務連絡員の報酬は三カ月分まとめて年四回支払っている。

問 駐留軍離職者等見舞金については、毎年見舞金として計上されているが、現状を考えると見直す時期に来ているように思われるが、市長の考え方を伺いたい。

答 昭和三十三年の五月にこの法律ができ、当初五年間ということであったが何回か延ばされてきている。

今年も五月に期限切れとなったが、離職者対策協議会が政府に陳情し、あと五年間延期されたという経過がある。

福生市だけで制度をなくすということはむずかしいと思うが、今後協議会とも協議していきたいと思っている。

### 効果的財政運営で

### 都市生活基盤も整備



《賛成》

五十七年度の決算は、非常に厳しい状況にあるながら、福祉行政の推進、教育施設をはじめとする公共事業の促進、施設の効率的運用等、当初予定した施策がおおむね所期の目的を達成したと思う。

財政運営面においては、経常収支比率がわずかながら上がったことは考慮すべき点であり、今後さらに経常経費の抑制と財源確保には一層の努力を期待するものである。また、自主財源に乏しい当市にあって、将来に備えての財政調整基金への三億四千万円の積み立てを初めとする総額五億四千二百万円の繰越金ができたことは誠に心強いものである。

今後さらに厳しさを増す経済状況を考慮し、効率的財政運営に当たられるようお願いし、賛成する。

### 市民生活を脅かす

### 冷たい政治姿勢



《反対》

五十七年度は、政府が臨調答申に基づき地方自治体と国民に大きな負担を押しつけ、東京都も財政再建の名のもとに都民に大きな負担を強いてきた年度である。

市長は五十七年度の施政方針で、国や都に補助金等の財源確保と受益者負担の適正化による財政基盤の確立に努めると言われたが、政府の方針に理解を示しながら市民に受益者負担の増額を押し進めている。

また、本決算は、福祉施策で福祉タクシー等若干の事業はあったが、保育料を初め社会教育施設の使用料の値上げや学童保育の父母負担の導入等、市民に負担を押しつけてきた。

さらに財政的にも、三億四千万円を財政調整基金に積み立てるなど、福祉関係に力を入れたい市民に冷たい政治姿勢が貫かれており、本決算に反対する。

## 監査意見

### 行政の簡素合理化と

### 自主財源の確保を

当年度の歳入歳出差引残額は一億二千三百七十二万円の黒字となっているが、単年度

収支額は千九百四十万円の赤字となっている。

財政力の指標となる財政力指数は〇・七〇で前年度より〇・三ポイント高くなっている

が、都下二十六市中二十四位と低い地位にある。

このことは、市民一人当たりの市税負担額が八万六千円（二十一位）と市民の担税力の低さからも推察できる。

また、歳出決算額は七位と

なり高い行政水準を維持しているが、これは依存財源によるところが大きい。

当年度予算にかかわる主要施策の執行は、計画どおり実施され、また、多くの施設も効率的に運営されて、所期の目的を達成したと思われる。

今後自主財源の確保を図り、行政の簡素合理化を推進して行くことが必要である。



# 一般質問

第4回定例会では  
5人の議員が一般  
質問を行いました

## 老朽化した庁用バス

### 新年度に購入予定



長い間活躍した庁用バス

質問 庁用バスは購入してから十年を経過し、走行距離も十二万キロメートルを超えている。

市民の利用する回数が多い反面、老朽化も進んでおり、実施計画書にある来年度の買い換え

を考えているのかどうか。また、各部課での車両の過不足はないのかどうか。使用目的に隔たりを感ずるところもあり、運用面での基本的な考え方を聞きしたい。

市長 庁用バスについては、御指摘のとおり老朽化していることでもあり、計画どおり五十九年度に買い換えたいと思

っている。また、公用車については、担当課で管理しているが、購入の基準として、特殊なものを除き原則的には新規購入しないことになっており、五年の耐用年数が過ぎた車のみ買い

換えを行っている。

しかしながら、これらの方法も良策とは言えず、今後実態を把握し、財政面を考慮しながら購入、管理面等についても検討していきたい。

### 高齢者事業団への業務

#### 市でも広範囲に委託

質問 高齢化社会の到来により、老人問題が大きくクローズアップされている。当市にも五十四年十一月に設立された高齢者事業団で、就職は望まないが何らかの収入が欲しいという会員が増加している。

育成及び安価という意味からも市の委託事業を増やすことができないものか。なお、職員の給与が著しく低い現状等から、事業団に対する今後の市の考え方についてお聞きしたい。

市長 長い間の人生経験から得た豊かな知識や技能を地域社

会に生かすということは、きわめて重要なことと考えている。市としてもできるだけ業務委託をしていくつもりでいる。

また、職員の給与問題については、発足当初から人事の交流が計画され、高齢者事業団、振興財団が作成した基準が遵守されている。

しかしながら、現状にそぐわない点もあり、関係職員による事業団職員問題検討委員会をつくり、都と話し合いを進めており、その経過をみて市の方でも対応したいと考えている。

### 効果のみられる

#### アナライザーの設置

質問 五十七年度に一小に設置されたアナライザーが今年度は三小、五小に設置されると聞いている。

一小での成果と教育の機会均等という面からも今後の計画についてお尋ねしたい。

また、市民が気軽に利用できる夏期キャンプ場の設置を考えているかどうか。

教育次長 一小では四月から五月にかけて三回ほど講習会を実施し、五月中旬から十一月末までに七十三回利用されている。

また、教科では社会、算数、国語等て利用し児童の関心度も高く、消極的だった児童もボタンを押すことにより、教師に自分の意思を伝えることができるということなどから効果が上がっている。

三小、五小の工事も一月初旬には工事が完了する予定である。

### 側溝の蓋かけ

## 今後とも随時に整備

質問 市内で側溝に蓋かけのない道路が目立っている。

先日、武蔵野台で側溝に車を落として困っている人がいたり、車をよけたはずみで側溝に落ちたという人もいます。

一步間違えば大事故になりか

り、その他の学校についても十分学校側と調整をし、設置の方向で検討していきたい。

なお、夏期キャンプ場の設置については貴重な意見と思っており、今後、西多摩地域広域行政圏の中で進めていきたいと思

今後とも交通量の多い道路などから整備していきたいと思っ

### 防災用品の展示

#### 助成とも合わせて検討

質問 日本海中部地震、三宅島の大噴火など大きな天災が続いている。

当市でも市民の防災意識を高めるために、防災訓練が行われているが、避難場所に指定されている所に飲料水の確保がされていない。

できれば、簡単に対応できる地上タンク方式を取り入れるべきと思うがどうか。

また、給水能力についてもお尋ねしたい。

なお、広報無線の聞き取りにくい場所の対策、及び防災用品の展示、助成等についてもお尋ねしたい。

市民部長 飲料水の確保については、水道の配水池に五千トン、耐震性貯水槽に四百トン、その他公共用の井戸に六百トン余りの量がある。

また、舗装の打ち直しなどでは、できるだけ工字溝にするよう計画しており、既設の蓋の利用等も含め、

り検討する必要があると思っ

また、広報無線については、電波管理法が改正され、六十六年六月以降現在の施設が使用できなくなる状況であり、新システム移行時に全体的な解決を図っていきたいと考えている。

なお、防災用品の展示等については、庁舎内が狭隘なこともあり、助成の問題とも合わせて検討していきたい。

### 行政組織の見直し

#### 十月を目途に実施

質問 五十三年の四月に部制がひかれてから今日まで、必要に迫られ施設課、厚生課、あるいは教育委員会に指導室が新たに設置されてきたが、行政機構の基本は市民サービスの向上が大前提であり、そこに働く職員の効率的機能の発揮ができるような働きやすい場をなければならないと思っ

部制がひかれてから五年を経過しており、対応の遅れがないよう、そろそろ全面的な組織の見直しの時期にきているのではないかと思っ

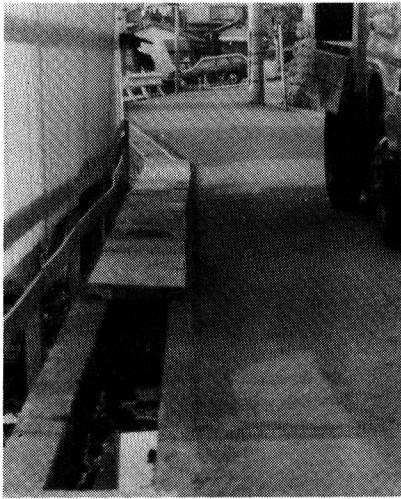
市長 現在の行政機構は、五十七年四月から向こう三カ年

## 議会日誌

10月

- 4日 青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会
- 5日 第四十五回全国都市問題会議(8日まで)
- 7日 多摩川上流流域下水道対策協議会、交通事故防止緊急連絡会議
- 12日 全国市議会議長会基地協議会(14日まで)
- 18日 厚生委員会行政視察(20日まで)
- 19日 西多摩農業共済事務組合議会
- 20日 市議会だより編集会議
- 22日 東京自治会館組合議会議察(21日まで)
- 22日 沖縄県宜野湾市視察来市
- 25日 建設委員会行政視察(27日まで)
- 27日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会議察(28日まで)
- 31日 総務委員会行政視察(2日まで)
- 11月
- 7日 横田基地対策特別委員会行政視察(9日まで)

狭い道路での車には危険を感じます



は市道の約六〇%が整備されているが、五十八年度においても約五・二キロメートルを予定している。

また、舗装の打ち直しなどでは、できるだけ工字溝にするよう計画しており、既設の蓋の利用等も含め、

現在の行政機構は、五十七年四月から向こう三カ年

を見直し組織されたものであり、市民要望の多様化等から行政需要の変化も見られ、五十九

年十月を目途に組織の見直しを実施したいと思っている。

### 用途地域の変更

## 六十二年を目標に検討

質問 地価も高く、土地を有効に利用するためにも、現在建ぺい率三割地区の格上げと一種住専の見直しの時期にもきてい

東口の整備も終わり早急に取組むべきものと思うがどうか。  
市長 東京都では、用途地域の變更について六十二年度を目

また、福生駅東口の都市計画街路二・二・二号線都道と交差する道路附近は、道幅も狭くなり買物客の駐車等から歩くにも危険な状態になっている。

市としてもそうした機会をとらえ、しかるべき指定が図れるよう検討したいと思っている。また、都市計画街路二・二・



早い完成が望まれる都市計画街路2・2・2

二号線については、三十八年に事業決定した一部が暗礁に乗り上げ、そのためそれより以南の認可が取れない状況である。都施行による事業の実施などその解決策をいろいろ検討しているところであり、いまましばらく時間をいただきたい。

議会を  
傍聴しましょう  
次の定例会は  
3月です

### 保護者負担の軽減

#### 前向きに検討

質問 幼児教育の重要性が強調されている折から、市では補助金を交付し、私立幼稚園児の保護者負担の軽減を図っているが、近隣の市町に比較しその額は低く、地域格差のバランスからも増額できないものかどうかお尋ねしたい。

また、事業補助、及び職員の手当改善等に対しても援助を期待するものであるが、市の考え方はどうなのかお聞きしたい。

市長 私立幼稚園児保護者負担軽減補助制度については、公私立間の保護者負担の格差を正すことを目的として創設されたものであるが、当市の補助額は二十六市の中でも中位を若干下回るところにある。

増額等については、厳しい財政事情ではあるが今後前向きに検討したいと考えている。

考えていない

### 都立保育園の移管

質問 都立保育園の移管については、既に二年以上も経過しており、市長も一貫して近隣市町と協議しながらやっていくと言われているが、全く進展がないのかどうか。ここ二、三カ月の間にも態様の変化がないのかどうかお聞きしたい。

聞くとところによれば近隣の一市二町では交渉の場につくと云われているが当市の対応はどうなのか。

市長 先の議会でも質問をいただいたいるが変化はない。

八月に青梅で関係者が集まり、話し合いの場をつくってほしいという都の要請に、一市二町では話し合いの場につくと云うようなことも聞いているが、福生市としては今までどおりの考え方でやっていきたい。

なお、仮に都から話があれど、議会で意見書が採択されていることでもあり、相談を申し上げ、しかるべき処置をとりたいと思っている。

11日	全国市議会議長会基地協 議会理事會
14日	狭山火葬場組合議会
17日	三多摩上下水第二委員会
21日	狭山火葬場組合議会行政 視察(18日まで)
22日	厚生委員会、福生市青少 年問題協議會
24日	三多摩上下水第二委員会
28日	東京自治会館組合總會
30日	東京都三多摩地域廃棄物 広域処分組合議会視察 全国市議会議長会基地協 議会
12月	
2日	西多摩衛生組合議会、青 梅線・五日市線・八高線 期成同盟會總會
8日	第四回定例会(第一日 目)、全員協議會
9日	一般会計決算審査特別委 員會
12日	総務委員会、厚生委員会
13日	建設委員会
16日	議会運営委員会
20日	第四回定例会(第二日 目)、全員協議會
21日	横田基地対策特別委員会
24日	福生伝染病院組合議会

# 夜間の飛行訓練等

## 再三中止を要請

**質問** 九月一日から始まった空中給油機KC-135の移駐は、十一月十四日まで続き、連日五、六機が駐機していた。

この部隊の移駐について、米軍から何らかの連絡があったかどうか。また、態様の变化にあたらぬのかどうか市長の見解をお聞きしたい。

なお、九月から十一月までの離着陸数については、深夜の飛行回数が増加しているとも思われるので昼夜の別でお聞きしたい。

**市長** KC-135が横田基地に常駐するという連絡は受けていない。

また、態様の变化については、部隊の変更、あるいは大きな移動、その他基地内部での訓練等で大きな変化があった場合と受けとめている。

なお、騒音の激しい夜間の訓練や市内上空飛行については、市民からも連絡を受けており、再三中止するよう口頭ではあるが防衛施設庁へ申し出ている。  
**市民部長** 九月から十一月までの離着陸数については、九月全体で千五百十五回、時間帯では午前七時から午後七時までが千二百八十三回、午後七時から午後十時までが百四十回、午後十時から翌朝の七時までが九十二回となっている。



離陸直後の米軍機

また、十月は二千五百二十

回、前述した時間帯では昼間が千八百六十三回、夕刻が五百六十回、深夜が九十七回である。なお、十一月に至っては千八百三十一回、昼間が千四百二十二回、夕刻が二百三十一回、深夜が百七十八回となっている。

考えていない

### 騒音計の増設

**質問** 艦載機による飛行訓練は市内上空を飛び回り、市民を不安に陥れている。

市民の苦情の声を聞く現状からも騒音計を増設し、テレビ受信料の減免や個人住宅防音工事の区域拡大の申し入れ等にも必要と思われるかどうか。

また、一月から十二月までのうち、飛行回数の多かった日と時間帯及び艦載機の訓練した日の飛行回数等についてもお聞きしたい。

**市長** 騒音計の増設については、リサイクルセンターで記録されているものが本市の飛行機騒音を表わすものであり、それ以外の所での数値については、必要あれば計測することもありうるが、常設して測定することは特に考えていない。

**市民部長** 一月から十一月までのうち、最も飛行回数の多か

## 第4回定例会を傍聴された市民の方々

(敬称略)

- 野島 節子
- 井上 節子
- 村野 寛子
- 小林喜代子
- 佐藤 文枝
- 宮崎 浄子
- 森田 滋子
- 田野倉貞江
- 三浦美江子
- 羽村小夜子
- 尾亦 永作
- 高橋 正良
- 高橋 弘喜
- 鈴木百合江
- 市川 増子
- 沼田知恵子
- 明利千枝子
- 藤木 厚子
- 只野みつ江
- 高橋ケイ子
- 原口イク子
- 野口 新輝
- 橘 寛子
- 桑原 等
- 三井 静江
- 深瀬 正史
- 森田 英一
- 羽田 綾子
- 雨室アサ子
- 今野多美子
- 福元 洋子
- 依田 弘子
- 原 千鶴子
- 藤木美智子
- 大畠恵美子
- 大内 靖子
- 山上美枝子
- 大原 光子
- 白川みち子
- 木下志津子
- 梅野マサ子
- 名田すみ子
- 山形 勝子
- 那須 和美
- 川上 早苗
- 中野 初枝
- 小島五十鈴
- 宮内富美子
- 安藤 芳子
- 脇元 廣子
- 平沢 孝子
- 鴨宮 綾子
- 秋川れい子
- 町田 政寿

本会期中に可決された意見書は、それぞれ関係機関に送付されました

### 恩給法等を改正し十分な救済措置を

旧軍人・軍属恩給資格者救済に関する意見書

戦後三十有余年を経過したわが国は平和国家建設への着実な歩みを遂げ、国民生活の向上と社会保障制度の充実をめざしてきたところである。

しかしながら、旧軍人・軍属のうち、受給年限に達していないという理由から、全国で数百万人と推定される人達は、恩給資格者としていまだにその救済措置が十分に講じられていない状況であり、これは誠に遺憾である。

よって政府は、恩給法等の改正により、旧軍人・軍属等の在職年数に算入する加算年の改善並びに厚生年金、国民年金等への通算などの措置を講じられるよう強く要請する。



った日は十月三日の百七十五回、時間帯では七時から十九時となっており、騒音の最も高かった日は四月十三日の百二十五

## 熊牛緑地の管理

### 環境整備に十分留意

質問 中央図書館裏の文化の森は、散策するには最適な場所ではあるが、中学生の喫煙等非行の場に変わりつつある。

五月から八月にかけて、一中の教職員、あるいは地域の青少年協の役員等が昼夜交代でパトロールに当たったが、時には暗闇の中で中学生が集団で、また、挙動不審な者にも出会っている。

緑を守ることも大切なことで



冬は人影もまばらな熊牛緑地

ホーンが記録されている。また、艦載機の飛行回数等については、自動装置での記録であり詳細にはつかんでいない。

### 用地の確保が難しい

#### 駐輪場の設置

質問 駐輪場問題は、今まで再三議会での質問に対しても具体的な策が示されていない。

市民の大きな願いでもあるこの駐輪場対策について、その後の経過と設置の可能性についてお尋ねしたい。

市長 関係部課長による調整会議で長期的計画及び当面の対策を検討し原案ができたところである。

今後、さらにその内容を検討し、できるところから進めていきたいと考えている。

なお、牛浜駅五日市街道沿いの国鉄用地の借入れ見通しがあるほか、福生駅西口、牛浜駅東口の用地交渉についても地主側と引き続き折衝すると同時に、拜島駅西口についても昭島市と協議し地主と交渉しているところである。

### 国の委任事務は

#### 国の方針で対処

質問 在日外国人の方が、外国人登録をする場合に指紋を押しすることが、人権問題等の理由から拒否されたという事態が京都

### 住民の熱望に応え一日も早い完成を

#### 国道十六号線拡幅工事促進に関する意見書

福生市を通過する国道十六号線の拡幅整備計画につきまして、交通量の増加、これに伴う交通事故の激増等から福生市はもちろん、関係者の永年にわたる懸案事項でありましたが、国においてもその必要性を認め、数年前から事業を進めております。すでに米軍横田基地のうち、拡幅予定地については用地確保も終わり舗装整備を待つのみとなっております。

しかしながら、残された民地の拡幅部分については、国の財政難を理由に用地買収も大幅に遅れ、事業の完成は、全く見通しが立たないと聞いております。

特に沿線商業者は、国の事業と呼応して全体的な店舗改造を計画しているが、これも止むを得ず頓挫している状況であります。こうした状況を考えるとき、国の計画の遅れは、協力を約束した地元関係者の期待を裏切るだけでなく、今後の道路行政に対する沿線住民の信頼を損うことにもなりかねません。

国道十六号線の拡幅整備事業については住民のすべてが熱望し協力する事業でありますので一日も早く完成されるよう意見書を提出いたします。

### 健康の増進は国民の権利

#### 医療保険制度改正に反対する意見書

われわれ国民は、国民皆保険制度のもとに適正な医療を受けつつ、みずからの健康を守ってきた。

医療は、国民の生命維持及び健康増進を図り、国民が幸せな社会生活を送るために必要不可欠からざるものである。

しかるに厚生省は昭和五十九年度予算の概算要求に当たり、厳しい財政事情を理由に、健康保険法を改正し、国民健康保険や国保組合に対する国庫補助の削減、被用者保険本人給付の十割から八割への引き下げ、受診時の患者負担の増加を求める等、地方自治体や国民に財政的な負担を押しつける動きを強めている。これは国民の早期受診、早期治療の抑制、治療の中断等、国民の疾病予防や保健対策を軽視するものであり、ひいては、医療保険制度の基本を否定するものである。

よって、当市議会は、国民の医療を守る立場から医療保険制度の改正に反対するものである。

で起こっている。

わが国に居住する外国人の九割を占める韓国、もしくは朝鮮の国籍を持った人達の中でも深刻な問題となっている。

当市での現状はどうなのか市長の見解をお聞きしたい。

市長 指紋の押捺については外国人登録法に基づき、国の機関委任事務を市長が受け執行しているものであるが、手続等一定の方向が出るまでは国の委任事務であり、国の方針に沿って進めたいと考えている。

市民部長 十六歳以上の外国人で一年以上国内に滞在する方々を対象に指紋原紙、外国人登録原票、登録手帳のそれぞれに指紋の押捺をすることになっており法務省、市、それから本人が保管するというのが現状であり、当市では押捺についての問題は起こっていない。

十分審議してほしい

食品添加物の指定問題

質問 昨年三月に実施された世論調査で、国や地方公共団体に力を入れてほしい消費者保護対策のうち七〇％の人が、食品や医薬品などの安全確保をあげている。

健康を願いながらも、食べる

ことにより逆にガンや後世代に未知の障害をもたらす食品添加物の使用拡大や認可を健康と命を守る立場からも国に取り消すよう働きかける必要があると思うがどうか。

市長 食品添加物の指定については、食品衛生調査会の答申に基づき厚生省が八月二十七日付で新たに十一品目を指定したわけだが、指定しても差しつかえないとの安全確保がされているものと思っている。

今議会にも請願書が上程されており、十分審議していただきたいと思っている。



▽採 択△

○陳情第五十八—三三〇号 軍人軍属に係る恩給法の改正に関する陳情書

牛浜三四

町田 政寿氏

—昭58・8・29提出—

○陳情第五十八—五五〇号 国民健康保険の国庫補助に関する陳情書

青梅市河辺町六—二七—二

木暮 龍彦氏

—昭58・8・31提出—

○陳情第五十八—一三三〇号 国民健康保険の国庫補助に関する陳情書

青梅市青梅二五九

段上 増雄氏

—昭58・9・12提出—

○陳情第五十八—一四四〇号 歩道橋設置に関する陳情書

熊川一、〇三五

鴨宮 綾子氏 他一五〇八人

—昭58・11・9提出—

○陳情第五十八—一五五〇号 医療保険制度の改悪に反対し、厚生行政をただす意見書提出に関する陳情書

文京区湯島一—三—一

岩下 智一氏 他一人

—昭58・11・9提出—

○陳情第五十八—一六六〇号 健康保険改正に関する陳情書

本町七

三井田 敏幸氏

—昭58・11・28提出—

○陳情第五十八—一七七〇号 医療保険制度改革案反対に関する陳情書

青梅市西分町三—一〇三

瀬戸岡 進氏

—昭58・11・29提出—

○陳情第五十八—一八八〇号 国道十六号線拡幅に関する陳情書

福生二、一七二

北村 安忠氏 他一人

—昭58・11・29提出—

▽継 続△

○陳情第五十八—一四四〇号 玉川台町会集会施設建設に関する陳情書

熊川一、四三三—一六

太田 隆氏

—昭58・8・30提出—

○陳情第五十八—一六六〇号 大幅減税要求に関する陳情書

青梅市河辺町六—二七—二

木暮 龍彦氏

—昭58・8・31提出—

○陳情第五十八—一七七〇号 大型間接税導入反対に関する陳情書

青梅市河辺町六—二七—二

木暮 龍彦氏

—昭58・8・31提出—

○陳情第五十八—一八八〇号 申告納税制度改悪反対に関する陳情書

青梅市河辺町六—二七—二

木暮 龍彦氏

—昭58・8・31提出—

○陳情第五十八—一十〇号 申告納税制度改悪反対に関する陳情書

青梅市青梅二九五

段上 増雄氏

—昭58・9・12提出—

○陳情第五十八—一三三〇号 大幅減税要求に関する陳情書

青梅市青梅二五九

段上 増雄氏

—昭58・9・12提出—

○陳情第五十八—一三三〇号 大型間接税導入反対に関する陳情書

青梅市青梅二五九

段上 増雄氏

—昭58・9・12提出—

○請願第五十八—一四四〇号 食品添加物の指定品目拡大の反対を厚生省に求める意見書採択に関する請願書

南田園三—三—一六—二〇二

井上 直美氏

—昭58・11・28提出—

○陳情第五十八—一八九〇号 厚生省の食品行政に関する陳情書

本町二

天田 君子氏

—昭58・12・13提出—

▽取り下げ△

○陳情第五十八—一九九〇号 都営武蔵野台二丁目団地(仮称)建設計画に関する陳情書

武蔵野台二—一七—一五

中野 泰雄氏 他二〇七人

—昭58・9・6提出—